

令和4年度平塚市下水道事業決算の概要

河川の水質保全、公衆衛生の向上や浸水防止など、快適な市民生活における重要なライフラインとしての機能を十分に発揮できるよう、効果的な施設整備と効率的な維持管理を行うとともに、将来にわたり安定的なサービスを提供するため、適正な事業運営に努めました。

《下水道事業の現況》

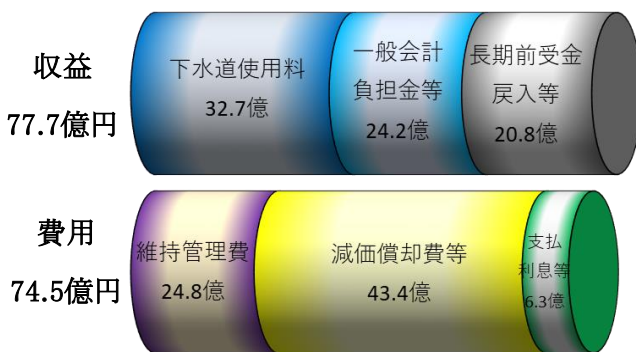
- ☑排水量 2,826万^m (前年度比△32万^m。25m³プール(600^m³)に換算すると1日あたり129杯分)
- ☑維持管理 24.8億円(前年度比+4.2億円。税抜。損益計算書の営業費用から減価償却費等を除いた額)
- ☑設備投資 25.1億円(前年度比△4.2億円。税込。決算報告書の「資本的収入及び支出」の建設改良費の額)

《決算のポイント》

- ☑企業会計移行後7年連続で純利益を計上(当年度純利益3.2億円 対前年度△1.7億円)
- ☑収益が対前年度1.7億円の増(一般会計負担金等+2.0億円、下水道使用料△0.1億円、その他△0.2億円)
- ☑費用が対前年度3.4億円の増(管渠費・ポンプ場費+2.0億円、流域負担金+1.8億円、支払利息△0.8億円、その他+0.4億円)
- ☑建設改良費が対前年度4.2億円の減(公共下水道整備、ツインシティ大神地区公共下水道整備及びポンプ場耐震長寿命化対策事業の減)

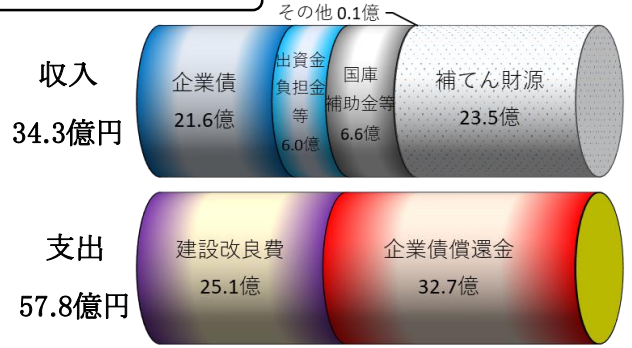
《収益的収支及び資本的収支の状況》

収益的収入及び支出



※収益的収入及び支出は、消費税及び地方消費税額を含まない額です。

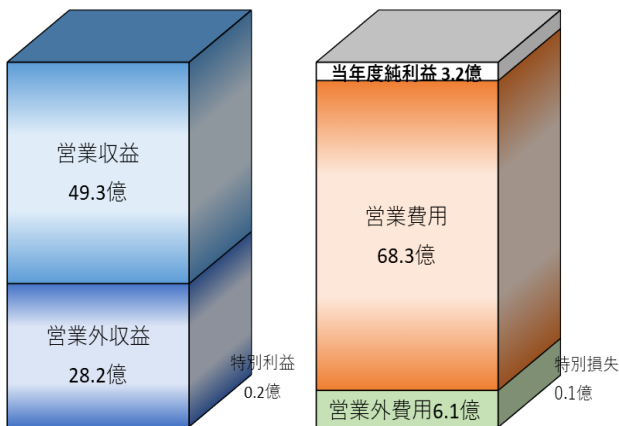
資本的収入及び支出



※資本的収入及び支出は、消費税及び地方消費税額を含む額です。

《財務諸表》

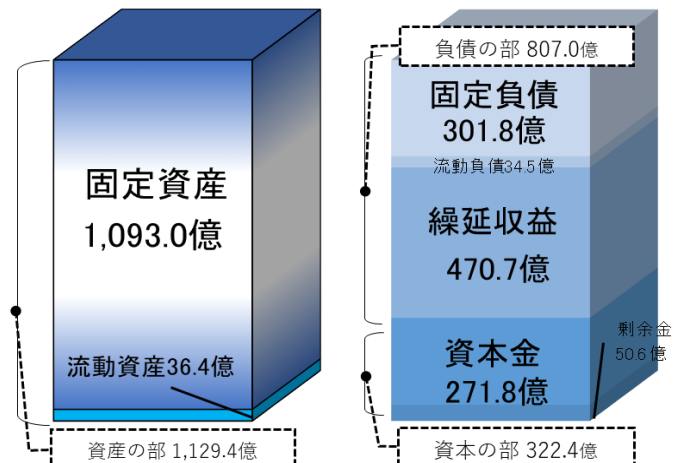
損益計算書



キャッシュフロー計算書



貸借対照表

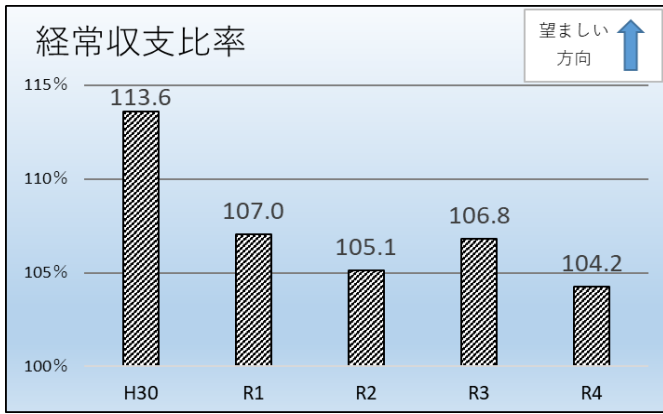


本資料の数値は、各表示単位で四捨五入して表記しているため、合計が一致しない場合があります。

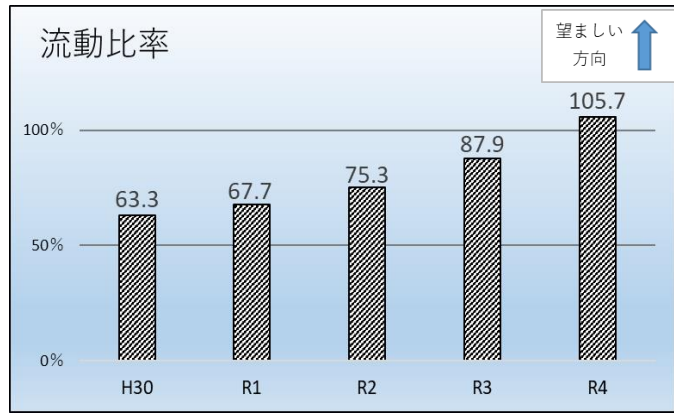


経営指標等

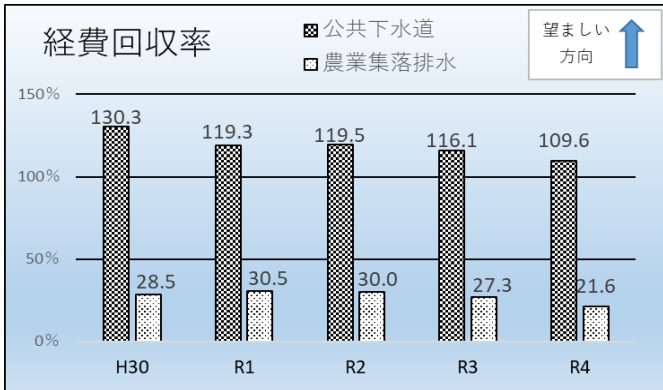
※類似団体平均値は、令和3年度数値。



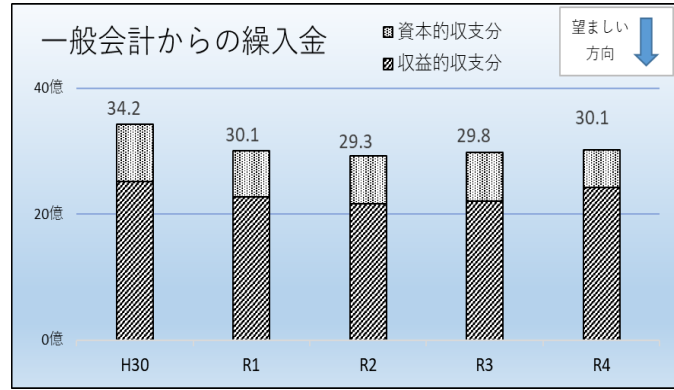
経常費用が経常収益によってどの程度賄えているかを示す指標。100%超を維持。当年度は収益以上に費用が増加し、前年度から2.6ポイントの減少。類似団体平均値：公共106.01%、農集99.03%



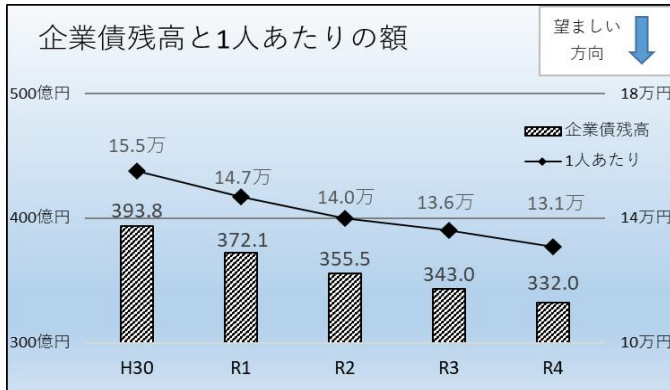
流動負債に対する支払い能力を示す指標。現金預金の確保と支払利息の減少により、理想値とされる100%以上を達成。前年度から17.8ポイントの増加。類似団体平均値：公共80.08%、農集114.23%



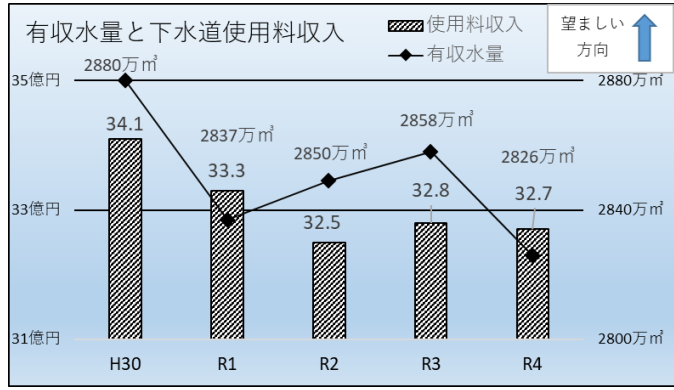
污水处理費用を使用料収入で賄えているかを示す指標。公共・農集ともに使用料収入は減少、污水处理費は増加。数値は前年度から公共は6.5ポイント減少、農集は5.7ポイント減少。類似団体平均値：公共98.75%、農集39.69%



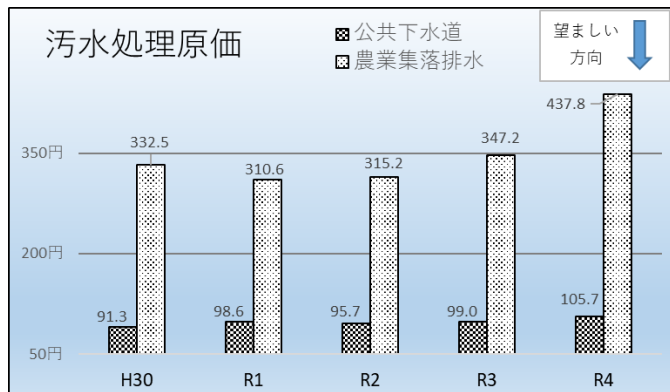
一般会計負担金、補助金及び出資金の合計額。一般会計からの繰入は、原則として繰出基準に基づく。動力費高騰の影響により、前年度から3千万円増加した。



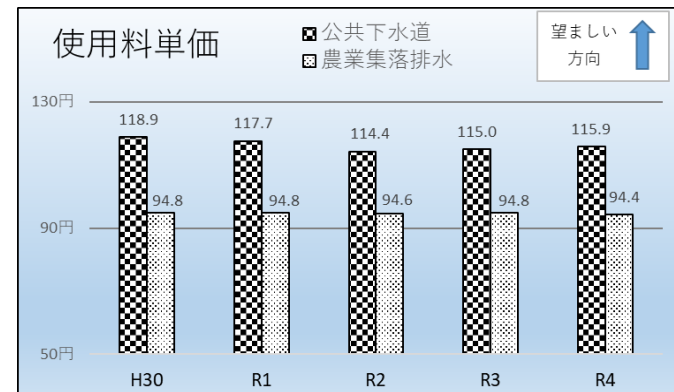
計画的な償還により、前年度から未償還残高は11億円減少、1人あたりの企業債残高も5千円減少した。類似団体平均値(1人あたり企業債残高)：公共10.6万円/人、農集16.7万円/人



有収水量は前年度から32万m³減少した。累進逓増制の下水道使用料は、事業所の排水量の増加以上に家庭の排水量が減少し、前年度から1千万円減少した。



污水处理原価 有収水量1m³あたりの污水处理費。類似団体平均値：公共142.03円/m³、農集253.17円/m³



使用料単価 有収水量1m³あたりの使用料収入。類似団体平均値：公共114.61円/m³、農集80.60円/m³